

# 摺上川ダムの洪水調節効果

～河川の氾濫による被害から下流域の人々を守ります～

## 洪水の概要

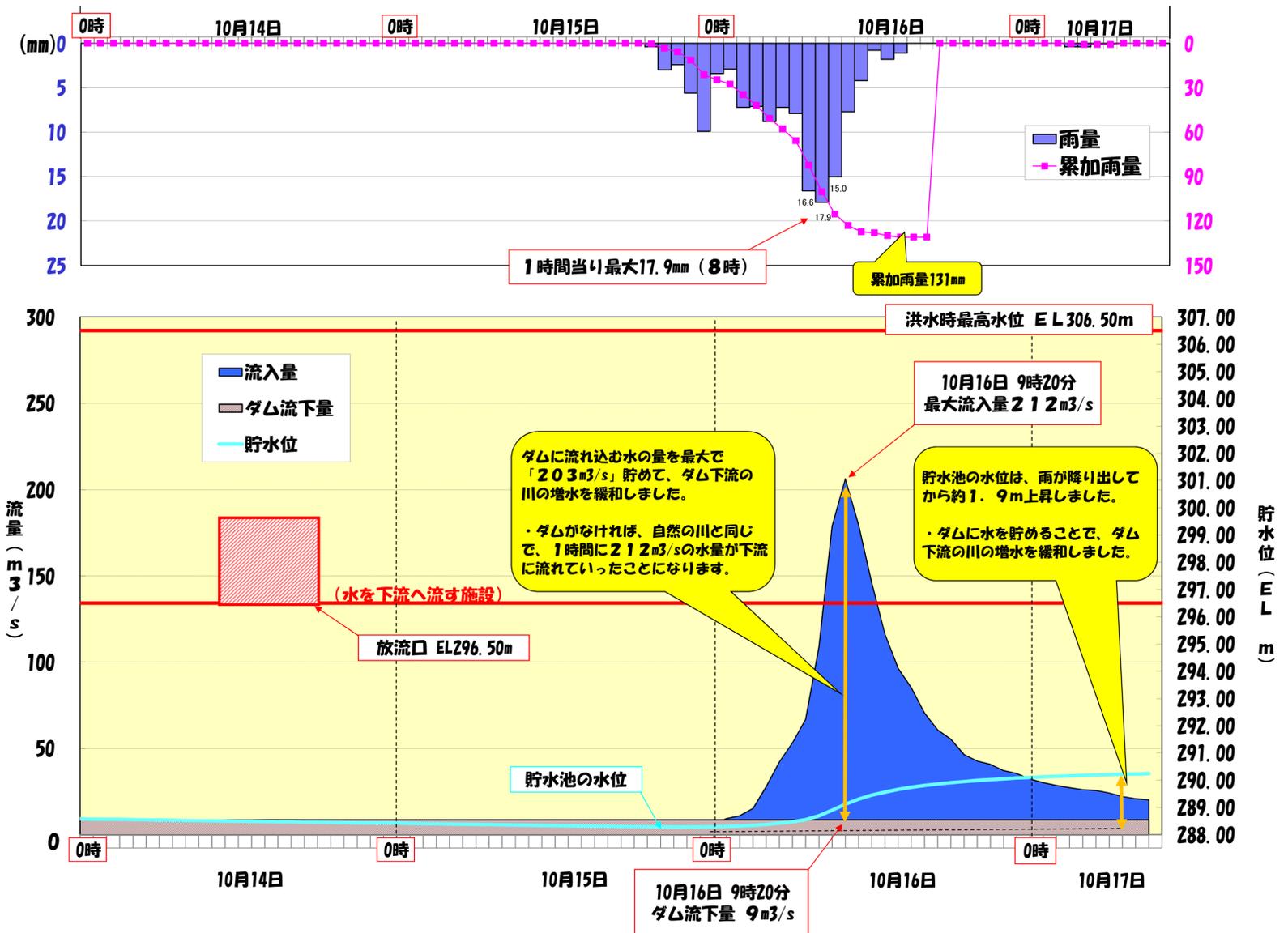
台風18号の影響により摺上川ダム流域では、平成25年10月15日19:00頃から雨が降り出し、10月16日14:00までの累加雨量は131mmに達しました。この降雨により摺上川ダムへ流れ込んだ水の量は10月16日9:20にピークに達し、洪水量（毎秒100m<sup>3</sup>）を超える毎秒212m<sup>3</sup>を記録しました。

## 摺上川ダムの効果

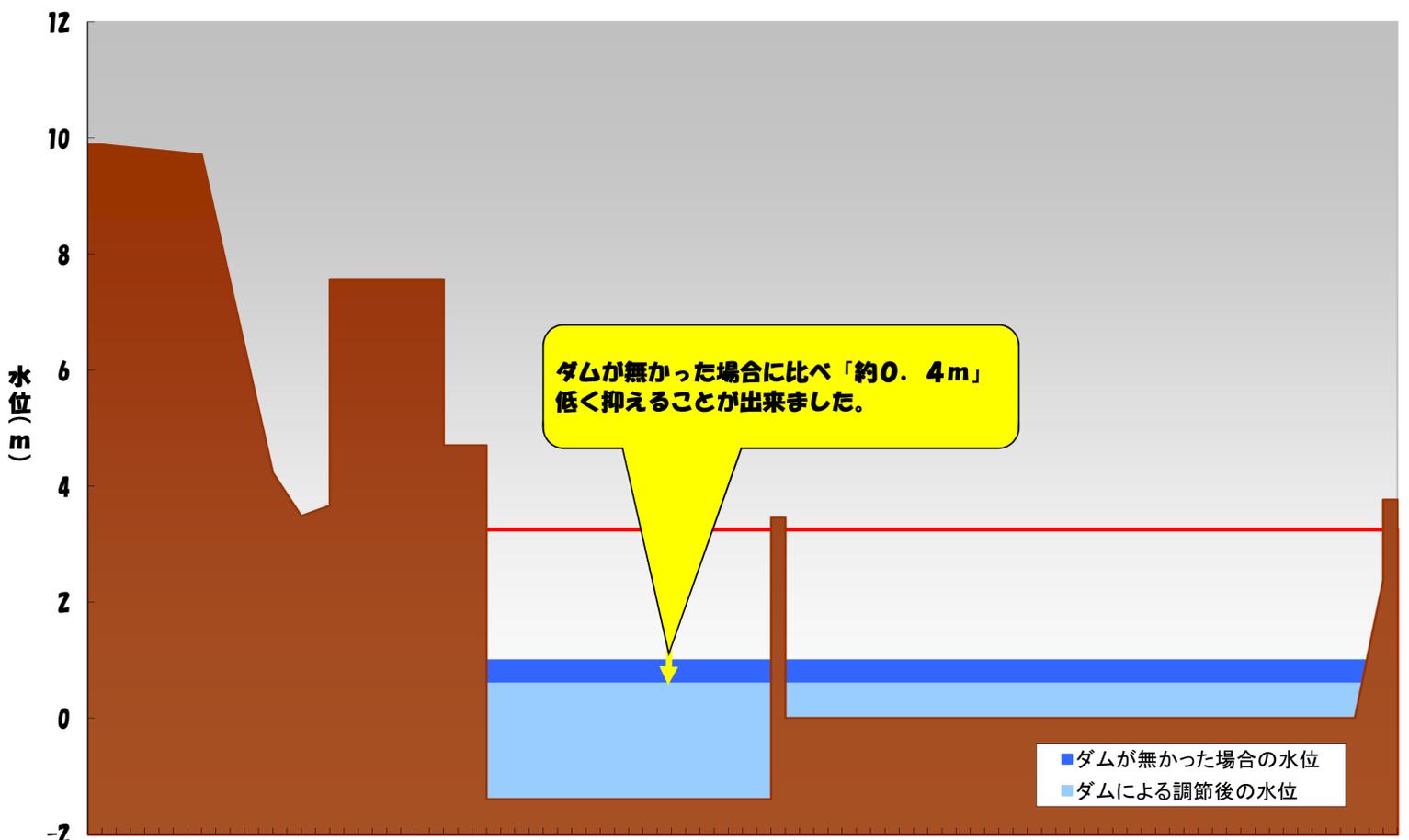
今回の洪水でダムへ流れ込んだ水の量は最大毎秒212m<sup>3</sup>に達しましたが、下流河川に流した水の量は毎秒9m<sup>3</sup>に抑えられ、「毎秒203m<sup>3</sup>」の洪水をダムに貯水することが出来ました。この結果、摺上川ダム下流部の西根下堰地点での河川水位は、ダムが無かった場合に比べ約0.4m低く抑えることが出来ました。

## 洪水調節のグラフ

### ～H25. 10. 16 防災操作図～



## 瀬ノ上地点でのダム効果



西根下堰 ダムによる防災操作の効果